

三陸の海を放射能から守る

岩手の会

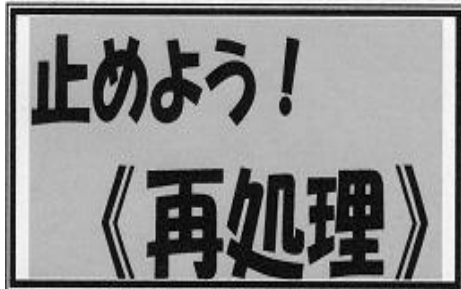
郵便振替 02240-5-102650

《再処理/岩手の環境》

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《まった再処理分庫》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k_imag



《天恵の海》

2009(平成21)年

9月 22日

第77号

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

署名 de CAN

みんなでやろう!

ストップ! 再処理

一昨年の約100万の署名につなげて

新政権に さらに全国の声を届けよう!

さらなる放射能汚染を防ぐために
一、再処理工場の稼働予定を凍結すること。
二、万が一にも高レベル廃液を環境に漏らすことのないようあらゆる方策を講ずること。



「岩手の会」盛岡での署名行動

◎9月21日現在 1万3553筆

「海に、空に、これ以上放射能を流さないで! 六ヶ所再処理工場は稼働凍結を!」 六ヶ所工場の危険な操業をストップさせるため、九月十三日から二〇日にかけて「全国一斉署名行動」の取り組みがありました。「岩手の会」も、九月十九日午後、盛岡城跡公園かめが池付近で広報活動、署名集めを行いました。「岩手の会」作製のカラーリーフ「六ヶ所再処理工場Q&A」を配布しましたが、受けとった人達からは「一目でわかる。読みやすい」と好評でした。一斉署名は、宮古、仙台、八戸、札幌、横浜などの市民が名乗りを上げて取り組んでいます。

第一次集約 (8月末日集約)

1万0016筆

第二次集約 (11月末日)

政府への提出 (12月予定)

前回の約百万の署名に
繋げよう

一昨年十一月と翌年一月に「岩手の会」は放射能から海を守るために、約十万六千筆の署名を集め政府に提出しました。その後、消費者団体や重茂漁協など岩手六漁協、サーフライダー・ファンデーション、ジャパンなどが集めた署名約八三万筆が提出されました。

今回は、前回の署名を埋もれさせず、「国民合意による絶対安全な原子力政策」を公約とした新政権が、先ず再処理を凍結させ、安全の糸口を確保する事を求めるものです。

みんなで出来る

「署名 de CAN」

本年二月、盛岡で開催された「六ヶ所ラプソディ」東日本市民サミットで、「六ヶ所再処理

工場稼働凍結を求める全国署名」が提起されました。その後、さらに周知させ「署名簿」を確定し、六月に岩手の会ホームページにアップしました。この全国一斉署名は「みんなで出来る再処理反対キャンペーン」(略称「みなキャン」)の一つとしても取り組まれました。また、全国署名について実施場所などを閲覧出来るWEBページも開設しています。



わかりやすいリーフレット
岩手の会「Q&A」

岩手の会では、誰にもわかる平易なリーフレット『これ以上放射能を流さないで! 再処理工場Q&A』を発行しました。(A3折りたたみ変形A5版)当会ホームページに掲載・配布中。

「豊かな三陸の海を守る会」は九月二六日(土)宮古市小山田マリーナコープ・ドラ前で署名集めを予定しています。

ナターシャ・グジーコンサート

ふるさとに思いをはせて、聴衆 400人魅了

気仙沼中央公民館ホール



〈チェルノブイリ救援・海の恵みに感謝する〉

ウクライナの歌姫、ナターシャ・グジーコンサートが八月三〇日(日)気仙沼市公民館に約四〇〇人を集めて開催されました。気仙沼周辺や岩手宮城にまたがる音楽愛好家たちによる実行委員会が主催しました。

スタッフの一人、武藤北斗さんは感想をブログに載せています。

◎先日参加した「ナターシャ・グジー」コンサートの報告です。通常は撮影は禁止ですが、スタッフとして写真撮影を許可いただき、限られた曲目の限られた枚数で撮影しました。美しいのは見えずに・・・

(写真の通り)

◎曲の合間のトークは民族衣装の話から、楽器の

菊田省一実行委員長の感想

沢山の人の協力でコンサートは成功しました。ナターシャの透명한ソプラノとバンドーラ演奏は、さらに音楽的な才能が向上し磨きがかかっていました。ふるさとを失ったナターシャ・グジーの過去を知ることで私達の未来が見えて来ます。三陸の海を守りたいという気持ちで沢山の人の心に伝わったと思います。

話、日本とウクライナの文化の話など多岐にわたりました。その中でもやはり私が心に残ったのは第二部の最初。まずはあざやかなドレスに着替えたナターシャの登場に会場から自然にためいきが・・・

◎そして、こんなお話をしてくれました。

(あわててプログラムへの走り書きなので、言い回しや語尾の違いがあると思います)

今から二〇年以上前にチェルノブイリ原発が爆発しました。お父さんが原発で働いていたので、原発からわずか三・五キロメートルのところに住んでいました。チェルノブイリ原発の事故は夜中だったので、殆どの人は大きな事故と知りませんでした。次の日は普通に生活し

宮古市まちづくり事業 ナターシャ・グジー コンサート 10月4日(日)

パネル展示 12時30分
開演 1時30分

宮古市民文化会館 中ホール
入場料：500円

(小学生・障がい者の方
300円)

当日受付にて申し受けます。

託児所あり

〈主催〉子どもたちの
教育と未来を考える会

連絡先 須賀原

TEL、FAX

0193-62-1708

ました。子供は学校へ行き、小さな子どもと母親は一日中外で遊びました。そして、一日中目に見えない放射線を浴びていました。

事故の事を知らされたのはその次の日でした。「たいしたことは起きていません。でも念のため避難してください。三日後に必ず帰ってくるから荷物は持たずに避難してください」

みんな、荷物を持たずに街を出てしまいました。でも、三日たっても、一ヶ月たっても、そして二〇年たってもその街には戻ることはありませんでした。

子供のころ毎日遊んでいた美しい森もたくさん思い出の思い出の家も土の中に埋められました。今そこには何も残っていません。かつて命が輝いた町は死の町になってしまいました。

した。ふるさとを失っただけでなく、たかさんの人が亡くなりました。

私の友達も何人も亡くなっています。当時私と同じように子供だった人が大人になり結婚したり子供を産んだりしています。そして新しく生まれてくる赤ちゃん達にも異常があります。

二〇年以上前に起こった悲劇はまだ終わっていません。人間は忘れることによって同じ過ちを繰り返します。悲劇を忘れないでください。同じ過ちを繰り返さないでください。そう願って私は歌を歌っています。

武藤北斗さんのブログ

「地球ととも」

<http://blogs.yahoo.co.jp:80/chikyutotomoni/>

30472974.html